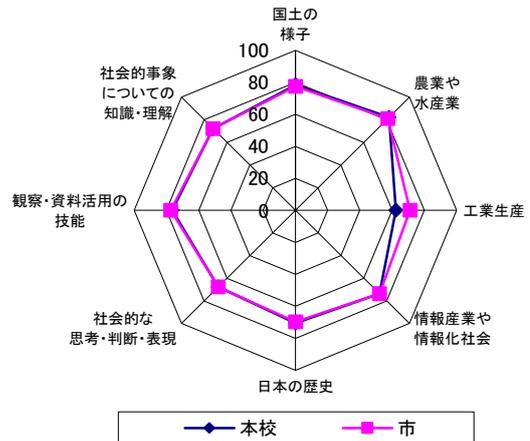


宇都宮市立富士見小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	78.4	77.5	74.0
	農業や水産業	82.2	81.1	73.7
	工業生産	62.3	71.1	73.5
	情報産業や情報化社会	73.7	73.7	63.2
	日本の歴史	70.5	69.7	73.5
観点別	社会的な思考・判断・表現	67.6	67.7	63.1
	観察・資料活用 of 技能	76.4	77.3	75.5
	社会的な事象についての知識・理解	72.2	72.2	73.1



※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	○「日本の周囲の国の国旗を理解している。」では82.1%で市の正答率を6.1ポイント上回っている。 ○「日本の気候の様子について、説明にあてはまる雨温図と都市の位置を判断することができる。」では、82.8%で市の正答率を6.3ポイント上回っている。	・身近な国の国旗や国土の気候については、良く理解できているが、一部では理解不足な児童もおり、差が極端である。今後も、説話の中に都道府県の様子や世界の国々の様子について話したり、地図を積極的に活用したりして興味を持たせるとともに理解を深めさせていきたい。
農業や水産業	○「日本の食料生産がかかえる課題について資料を基に考えることができる。」では63.4%で市の正答率を4.9ポイント上回っている。	・農業や水産業への理解が深まっていることから食料生産がかかえる課題について表現できたと思われる。更に様々な食品の詳細に目を向けさせ、個別に違ってくることに気付かせていきたい。
工業生産	●「化学工業の製品について理解している。」では、50.0%で市の正答率を17.9ポイント下回っている。	・化学工業の製品の理解が不十分なので、化学製品の定義から丁寧にオープンスペースにその分類・実物を提示して指導していきたい。
情報産業や情報化社会	○「身のまわりのメディアについて理解している。」「医療における情報ネットワークの利便性について資料を読み取り考えることができる。」では、70.5%、76.9%と市の正答率を-0.8、+0.8ポイントとほぼ同程度である。	・現在のインターネットによるネットワークについて、NHKの放送資料や今後の5Gを活用した新しい取組について新聞記事等を掲示して興味を深めさせ、今後も興味を持って学んでいけるよう支援していきたい。
日本の歴史	○「竪穴住居を理解している。」では、90.3%で、市の正答率を10.2ポイント上回っている。 ○「元の攻撃を退けた北条時宗を理解している。」では、72.4%で市の正答率を8.2ポイント上回っている。 ●「室町時代に完成した能を理解している。」では、79.3%で市の正答率を13.7ポイント下回っている。 ●「大和朝廷による国土統一の様子について、資料をもとに考えて表現することができる。」では、22.4%で元々の正答率が低いとともに市の正答率からも4.5ポイント低い。	・室町文化の現在へのつながりを掛け図で表示し、そこから能の世界について深めるような資料をオープンスペースに掲示していき理解を深めさせたい。大和朝廷時代の日本地図と前方後円墳分布図からその時代への興味と理解を深めさせたい。